

あ

私たちが生きていくために必要不可欠な「水」は、絶えず循環しています。地球上の水は太陽の熱で海や大地から蒸発し、雨や雪となって地面に降り、そして川を經由してまた海に戻っていきます。

その循環の中で保水力に優れた森や林は、天然のダム役割を担っています。ゆっくりと地中にしみ込む間に水を浄化し、川の水が枯渇しないよう調整し、洪水も防いでくれます。

朝霞に残る里山や斜面林等の緑地も水環境を守ってくれています。ぜひ緑地保全へのご協力をお願いします。

い

朝霞市内を東西に流れる黒目川は、春には桜、夏には涼と、季節ごとの風景で来る人を楽しませてくれます。

この豊かな河川には、多くの野鳥や生物が生きています。「多自然川づくり」とは、この自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な景観を保全、創出するために河川管理を行うことです。

朝霞市では、その取組をすすめているところです。

う

「雨水貯留槽」とは文字のとおり、「雨水」を「貯める」もので、庭木への散水や災害時のトイレにも利用出来ます。

また、大雨時などには、雨水が道路などに直接流れる前に貯めることが出来るため、被害の緩和となることもあります。

朝霞市では、設置費用の2分の1を補助（最大2万円）しています。補助を希望される方は、購入前に環境推進課までご連絡ください。



©朝霞市ほぼたん

え

宅配などの配送車が再配達することは燃料やドライバーの負担など無駄なエネルギーを使うこととなります。さらに二酸化炭素を排出してしまうので、地球温暖化の原因のひとつでもあります。

贈り物を送る時も、事前に在宅する時間を確認したり、コンビニやスーパーの宅配ボックスを活用するなど、配送は1回で済むようにしましょう！



©朝霞市ほぼたん

お

車で出かけるのは便利ですが、二酸化炭素を排出してしまいます。例えばシェアサイクル

を活用すれば、地球に優しい環境づくりに貢献することができます。

朝霞市は、シェアサイクルポートがたくさんあるのでちょっと乗るのに便利です。運動にもなり、天気の良い日ならば、気持ちのよいリフレッシュになるかも！？

ご利用の際は、交通ルールとマナーを守りましょう！



©朝霞市ほぼたん

か

「エシカル消費」とはよりよい社会に向けた人や地域・環境に配慮した消費行動のことです。

例えば、地元のものを買う地産地消、障がい者が製作した商品やエコ商品の購入は、農業・地域支援、福祉や環境に関する支援へとつながります。日常生活で欠かせない「消費」を通じ、よりよい社会への未来を選択することになります。

まずは、どのようなエシカル消費があるのか、「知る」ことから始めてみませんか。



©朝霞市ほぼたん

き

「特定外来生物」とは、海外起源の外来種で、日本の生態系や農業などに大きく被害を及ぼす動植物を国が指定しているものです。

特に埼玉県内では、アライグマの増加が懸念されています。その可愛い姿から、つい気軽に餌付けなどをしてしまうと、人馴れし、私たちの生活圏にさまざまな被害をもたらします。

また、病気を持っている事もあり大変危険なので、むやみに手を出さずに、野生動物との距離感を保つようにしましょう。

く

家庭から出される資源ごみは、それぞれ品目ごとに回収され、加工行程を経て再生利用（リサイクル）されます。例えば、ビンはビン・建築材料に、カンはアルミ製品・鉄製品に、ペットボトルは繊維などに、布類は工業用ぞうきんなどに再生利用されます。

この他に弁当容器などのプラスチック類は、完全に汚れのとれた物のみプラスチック資源になります。

ごみを捨てる際には、再生利用を効率よく進めるため、必ず「正しいごみ分別」のご協力をお願いします。

家庭内の消費電力は、エアコン、冷蔵庫、照明で5割以上を占めています。

け

LEDは蛍光灯よりも消費電力が少なく、あわせて排出する二酸化炭素も少なくなるので、導入コストを考えると、切り替えた方が家計にも地球にも優しい取組となります。また、LEDは発熱量や紫外線放出量が少ないため物を傷めにくく、虫が寄り付かないなどのメリットもあります。

切り替えの際は、注意点がありますので必ず確認してから行いましょう。

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。

こ

実は「ごみ拾い」などの環境保全活動もそのひとつにあげられます。

朝霞市では、毎年、5月と10月に、「きれいなまちづくり運動」を実施し、多くの市民の皆さんのご協力で、まちの美化を推進しています。

「向こう三軒両隣」の気持ちで、まちがきれいになるとうれしいですね。



©朝霞市ほぼたん

「雑がみ」とは、お菓子の空箱やティッシュの箱、包装紙やトイレットペーパーやラップの芯、洋服の台紙や値札等のことで、私たちの身近にたくさんあふれています。

さ

絵札は家族6人分の約1週間分の「雑がみ」。「紙だから燃やしてもいいでしょ」という人もいますが、これだけの量のごみが減ることで、燃やす際に出るCO₂削減につながります。また、燃やすごみが減ることにより、焼却炉の負担軽減対策にもなり、さらに紙はリサイクルできるため、分別するだけで多くのメリットがあるのです。

家電製品の省エネ化は年々進化しています。

し

買ったものを大事に使うのも良いことですが、家電製品に関しては、購入して10年を目安に比較すると、消費電力量に大きな差があり、買換えすることで、CO₂（二酸化炭素）排出量の削減や電気代の節約にもなります。

家電の買換えを検討しているならば、環境省のサイト「省エネ製品買換ナビゲーション『しんきゅうさん』」で、電気代削減効果などを簡単に比較できるのでぜひご利用ください。



ものを捨てずに、何度も使うことをリユース(Reuse)といいます。

す

例えばサイズが合わなくなって着られなくなった服を別の人に使ってもらうことなど、まだ使えるものをそのまま繰り返し使うことです。

「まだ使える!」「きれいでもったいない!」というものは、必要としている人に使ってもらう、フリーマーケットなどを利用することで、ごみの減量と資源の有効活用を図りましょう。



©朝霞市ほぼたん

「省エネ住宅」とは、環境に配慮した住宅のことです。

せ

例えば高断熱・省エネ・創エネにより、年間エネルギー消費量の収支のゼロを目指した住宅「ZEH(ゼッチ)＝(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」や「低炭素住宅」が挙げられます。

また、補助金や税控除などが受けられるメリットもあり、いいものを長く大切に使う「長期優良住宅」にもこの優遇措置が適用されます。

「家」という大きな買い物の際は、ぜひ、省エネ住宅を検討してみよう。

生活騒音は、日常生活にもなって発生するため、なくすことはできません。誰もが加害者にも被害者にもなる可能性があります。

そ

生活騒音問題を防止するには、時間帯に配慮する、音をもらさない・小さくする、また音の小さい機器を選ぶ等工夫が必要です。

音の感じ方は周囲の人との親密さや自身の心情に影響されるものです。日頃からご近所とのおつきあいを大切にするとともに、音に対する配慮も忘れずに!

まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」は、それまでにかかった生産、加工、流通コストが無駄になり、もったいない!

た

また、捨てるコストにおいても、水分を多く含む食品ごみは焼却効率が悪いため、余分な燃料使用量と二酸化炭素を増やす原因にもなります。

一人ひとりが「買わず」「作りすぎない」「食べ残さない」を意識した行動の積み重ねが、食品ロス問題の解決の糸口でもあります。



©朝霞市ほぼたん

ち

地球上の生き物は、数千万種類以上といわれています。それぞれ生き物は他の生き物と関わり合いながら生きており、そうした生き物と自然環境を合わせて「生態系」と言います。

私たち人間も生態系の一員であるとともに、その生態系のバランスの中で多くの恩恵を受けています。

生態系のバランスが崩れると、食物連鎖が壊れ私たちの生活を脅かすこともあるため、人間の生活を守るためにも、生態系を守ることは、とても大切な取組なのです。

な

生ごみは、有機物を多く含んでいるため、微生物の働きを利用し、コンポストでの発酵・分解により堆肥を作ることができます。

最近のコンポストは、地面に直接設置するタイプだけでなく、ベランダなどでできる製品など多様なものがあります。

生ごみの減量にもなりますので、園芸や家庭菜園などをされる方は、ご家庭にあったコンポストを選んで試してみたいはいかが？



©朝霞市ほぼたん

つ

人の出入りの少ない窓辺にあるエアコン室外機の裏や戸袋は雨風がしのげるため、気づかぬうちに、鳩やムクドリなどの巣を作られてしまうことがあります。

鳥の卵やひなは鳥獣保護管理法により駆除することはできず、巣立ちまで待つことしかできません。

窓辺をまめにチェックすることが、巣を作らせないための一番の防除となります。万が一、巣を作りはじめってしまったとしても、卵を産む前は巣を取り除くことは可能なため点検を忘れずに。

に

地球温暖化の影響で猛暑や台風など災害が多発しています。

その対策のひとつとして温室効果ガス排出の抑制となる太陽光発電の利用があげられます。

朝霞市では、既存の住宅に設置する太陽光発電システムや蓄電池、家庭用燃料電池の設置費用の一部を補助しています。

検討される方は、環境推進課まで事前にご相談ください。



©朝霞市ほぼたん

て

「アップサイクル」とは、捨てられるはずだった不用品などに付加価値をつけて、もともと製品よりグレードアップさせること。

パッチワークは、捨ててしまうようなハギレを縫い合わせてベッドカバーやクッションカバーなどの生活用品に変身させる、古くからあるアップサイクルの一例です。

また、リサイクルは、素材を一度加工して再生利用しますが、アップサイクルはそのままの素材を活用するため環境負荷が少ないのも特徴です。

ぬ

木材は柱や板、紙、さらには燃料（バイオマスエネルギー）といったように形を変えながら何度も利用することができ、森林から再生産が可能な貴重な資源です。また、最終的には微生物等の働きにより分解され、土に返すことができる環境負担の少ない資源でもあります。

さらに、国産材を使う事は「伐って、使って、植えて、育てる」森林の適切な管理につながり、地球温暖化防止だけでなく、国土の災害抑制にも役立ちます。

と

野生動物は人から食べ物をもらうことを覚えると、自然の中では生きていけません。

また栄養状態が良くなると、個体数が増え、鳴き声やふん害など周りの生活環境にも影響が出たり、人を恐れなくなり、食べ物をねだるようになったり、襲いかかってくることも。

野生は野生のまま、遠くからそっと見守る、野生動物にエサはあげない、人と野生動物の距離感を保つようにしましょう！



©朝霞市ほぼたん

ね

気温が高い、湿度が高い、風が弱いなどの環境がそろると熱中症を引き起こす要因となります。そして、特に高齢者や乳幼児、糖尿病など基礎疾患の持病がある方は汗が出ない、皮膚から逃げる熱が少ないなどの条件で熱中症を起こしやすいといわれています。

のどが乾く前に、こまめに水分・塩分補給、日傘・帽子やエアコンを活用するなど、熱中症対策を心がけましょう。



©朝霞市ほぼたん

の

子どものころに友達と遊んだ城山公園、島の上公園、滝の根公園。朝霞の森でみんなと楽しんだバーベキュー。黒目川や街路樹の季節ごとの風景。

ケヤキ並木の公園通りを中心に行われる、なるこの流し踊りや大旗の競演、迫力満点の花火が楽しめる朝霞市民まつり「彩夏祭」(さいかさい)。

朝霞に住む私たちのそばにいつもたくさんの緑がありました。これからも朝霞の緑をみんなで守りましょう。



朝霞市民まつりシンボルキャラクター「彩夏ちゃん

へ

次世代自動車とは、「ハイブリッド自動車」「電気自動車」「燃料電池自動車」「プラグインハイブリッド自動車」「クリーンディーゼル自動車」などを指します。

いずれも地球温暖化防止を目的に環境を考慮しているので、二酸化炭素の排出を抑えた設計になっており、燃費性能に優れた車種も多く経済的メリットもあります。

市役所公用車駐車場内に電気自動車用急速充電器が設置されていますので、ぜひご利用ください。



©朝霞市ほぼたん

は

マイボトルを持つことは、プラスチックごみの削減につながる他、使い捨て容器の生産・輸送などに必要な資源の節約にもつながります。

また、マイボトルの利用は、環境配慮だけでなく、オリジナルドリンクで糖分摂取量など健康面にもメリットがあり、飲料代の節約にもなります。

エコでおいしく健康的なライフスタイルを！



©朝霞市ほぼたん

ほ

リデュース (Reduce) とは「ごみを減らす」ことを意味し、ごみの発生自体を減らす事、資源の無駄遣いを減らす事を指します。

例えば、過剰な包装は断る、中身の詰め替えられる商品を選ぶ、マイバック・マイボトルを持ち歩くなどがあげられます。

プレゼントは、「贈る気持ち」で勝負！ラッピングは最小限にして、ごみを出さない生活を心がけましょう。



©朝霞市ほぼたん

ひ

都市部のヒートアイランドを緩和する、緑地の「クールアイランド現象」。

緑地や保水機能を持たせた道路などは、暑い日にはその水分が蒸発して熱を奪うため、都市部の気温を低下させる効果があります。

例えば、夏場に城山公園などの緑地の脇を通ると、「ひんやり」しているのは、保水や蒸散の効果の表れです。

緑には、景観や癒し、また二酸化炭素を吸収する他にも、このような恩恵を私たちに与えてくれるのです。

ま

「グリーンインフラ」とは、自然環境が持つ多くの機能を防災や環境保全等の課題解決に活用したまちづくりのことです。例えば「街路樹」では良好な景観形成、生物の生息・生育の場の提供などがあげられるほか、気温上昇の抑制や保水機能もあるため、地球温暖化対策にもなります。

朝霞市では、朝霞の森に隣接するシンボルロードをはじめ、道路や公園整備などでもグリーンインフラの考え方を取り入れています。



©朝霞市ほぼたん

ふ

ポイ捨てなどで不適切に処分されたプラスチックごみが、紫外線や波などの自然環境により5ミリ以下に破壊・細分化されたものを「マイクロプラスチック」と言います。

マイクロプラスチックは、摂取した魚類や、その魚類を摂取した人体にも害が及び、また細かいために回収が難しく自然分解もしないため、世界的に大きな問題となっています。

この問題を解決するため、プラスチックの使用量を減らすことや、使用后に決められた分別で捨てる取組は、とても重要です。

み

生ごみの約80%は水分です。この水分をひと絞りするだけで、ごみの減量に効果あり！

生ごみの水切りをすることで、悪臭の防止、燃やすごみ量の削減、燃やす時間の短縮(焼却の効率化)となり、二酸化炭素の排出抑制につながります。

捨てる前のほんのひと手間ですが、週に2回の可燃ごみ収集×世帯数分で生ごみを水切りすると、その効果は小さくないのです。



©朝霞市ほぼたん

む

お風呂の水も、限りある資源のひとつです。シャワーを流しっぱなしにしない（開閉をこまめにする）、湯船のお湯を利用して体や頭を流す、残り湯は洗濯や拭き掃除、庭木への散水など再利用しましょう。日常の1人ひとりの心がけが大きな節水につながります。

また、皆さんが安心して飲める水を供給するために、河川を浄水する作業や送水・給水する際に電気を必要とするので、節水は節電にもつながります。



©朝霞市ほぼたん

め

庭の樹木やグリーンカーテンは、木陰を作る、太陽熱の吸収や放熱の緩衝など、ヒートアイランド減少の軽減といった効果のほかに、育てる楽しみ、見る楽しみで、私たちの生活に潤いを与えてくれます。

市役所をはじめ、公共施設でもグリーンカーテンなどの緑化で、ヒートアイランドの抑制に努めています。

朝霞市では、民有地で生け垣や緑化フェンスを設置する費用の一部を補助しています。工事する前に、お気軽にみどり公園課までお問合せください。

も

人と動物が共に生きる社会の実現には、飼い主のモラルとマナーが必要です。

犬の散歩をするときは、必ずリードをつけ、排泄をしたらフンは必ず持ち帰り、尿については少量なら臭いが残らないように水で流しましょう。また、トイレツヤやナベル等を使用するなどの配慮もお願いします。

日頃から自宅で排泄できるようにトレーニングしておく、ペット防災の観点からも避難所でのトラブル防止に効果的です。



©朝霞市ほぼたん

や

路上での喫煙は、周囲の人に煙の害を及ぼすほか、やけどを負わせる危険もあり、火のついたタバコのポイ捨ては火災の原因にもなりかねません。

また、タバコに限らず、ごみのポイ捨ては、美観を損ねたり、排水溝や河川を通じて海まで流れ出て、捨てられた場所だけでなく広い範囲での環境破壊へつながります。

自分自身が住むまちが、いつも気持ちの良い環境で住み続けられるよう、「絶対やらない」ご協力をお願いします！

ゆ

打ち水は、道路や家の周りに水をまき「涼」をとる、昔ながらの夏の暑さ対策の1つです。

打ち水は、朝や夕方など、日差しが強くない時間帯に行うのが効果的です。また、打ち水に使う水は、お風呂の残り湯や雨水を貯めたものなど二次利用水を使いましょう。

時間に追われがちな現代ですが、打ち水で「涼」を感じながら、ちょっとゆとりしてみませんか。



©朝霞市ほぼたん

よ

朝霞市では、親しまれる都市農業を目指し、さまざまな農業体験を行っています。

にんじん掘り、田植え・稲刈り体験、じゃがいも掘り、さつまいも掘り、どれも自分で収穫した作物は、買ってくるものより、より一層美味しく感じます。

農業体験を通して、食に関する知識や食を選択する力を学ぶ「食育」のきっかけにも。

農業体験は、市広報・市ホームページに募集記事を掲載します。その他詳細については、産業振興課までお問合せください。

ら

環境問題の多くは、私たちの日常生活に関係していることから、すべての人がそれぞれの立場で取り組み、身近な環境に関心を持つことが必要です。

朝霞市では、こどもエコクラブや環境美化ポスターの募集のほか、リサイクルプラザでもさまざまな環境講座を開催しています。

人と環境のかかわりについて、幅広く理解を深め、環境に配慮したライフスタイルへと転換していきましょう。



©朝霞市ほぼたん

り

アメリカオニアザミは、葉や莖に鋭いトゲを持ち、非常に繁殖力が強い。そのため日本の生態系などに被害を及ぼすおそれのある「生態系被害防止外来種」に環境省が選定している植物で、市内でも生育が確認されています。

ご自宅の敷地内で発見された時は、トゲに注意して革手袋等をつけ、鎌などを使用して取り除き、ごみ収集の際に怪我をしないよう、新聞紙等で包んで可燃ごみで処理してください。

道路などで見かけたときは、環境推進課までご連絡ください。

る

何気ない日常の中で、不要な電源をオフにすることは二酸化炭素削減＝地球温暖化防止の助けとなります。

不要な電源はオフにしておく、こまめなスイッチオフなどは光熱水費の節約のほか、漏電による火災などの事故防止にも。

身近な行動で、「電力は必要最低限の利用」を心がけましょう！



©朝霞市ほぼたん

れ

「消費期限」とは、正しく保存した場合、表示日まで「安全」に食べられる目安です。

「消費期限」は、食肉など傷みやすい生モノなどに表示されるので、うっかり期限が過ぎてゴミにしてしまわない様に、冷蔵庫の中は、こまめにチェックしましょう。ただし、チェックの際は、冷蔵庫の扉を開けたままにしないよう節電にも気をつけて！

また、食材はいつ何に使うか考えて、無駄なく消費出来るよう買いましょう。



©朝霞市ほぼたん

ろ

生け垣の種類によっては、放っておくと何メートルにも成長し、管理が難しくなることもあります。自宅から隣地や道路に越境すると、周りの人に迷惑をかけることにもなりかねません。

しかし、緑の植栽は、都市のヒートアイランドの抑制や緑の創出にもなるため積極的に取り組みたいものです。

庭木は、早めの剪定で管理すれば風通しも良くなり、病害虫の防除にもなります。快適な生活環境のために庭木のお手入れはこまめに行いましょう！



©朝霞市ほぼたん

わ

浄化槽は、し尿や生活雑排水の汚れをきれいにし、側溝や水路などに流しているため、最終的に川などに流れ着きます。そのため河川の水質汚濁を防止するために、浄化槽には「保守点検」「清掃」「法定検査」が義務付けられています。

「いくつもあって大変！」という方には、「浄化槽一括契約制度」もありますので、こちらをおすすめします（市ホームページをご覧ください）。



©朝霞市ほぼたん

を

オンライン(コンピュータネットワーク)利用の拡大で、テレワークが当たり前前の時代となりました。

テレワークとは情報通信技術を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことで、人の移動の減少でCO₂(二酸化炭素)排出量の削減につながるほか、電子データのやりとりでペーパーレス化が進むなど環境保全効果も期待されています。

また、住む場所や勤務時間の選択肢が増えることで、ワークライフバランスの実現にもつながります。

ん

「地産地消」とは、野菜などを生産された地域で消費することで、例えば朝霞で作られた人参を

市民の皆さんが買って食べることです。

新鮮な野菜を安く買えるだけでなく、流通を通さないことで余計な二酸化炭素を排出しないというメリットもあります。

消費者と生産者が近いことは、対面販売などを通して安心感や愛着心が深まるほか、地場農産物の消費拡大で生産者支援にもなります。



©朝霞市ほぼたん